

むすび深町

について

2022年10月に山形市深町に開設したむすび深町も4度目の新春を迎えました。そこで今回は改めてむすび深町がどういうところなのかについてお伝えさせて頂きます。

【事業者】

名称:特定非営利活動法人あじさい
住所:西村山郡大江町大字本郷丁10-1
代表理事:伊藤紀子

【現在の職員配置】

管理者、サービス管理責任者、相談支援専門員
地域移行支援員、作業療法士
生活支援員、調理員(兼務も含む)

職員合計 12名

●どんな人が利用できるの?
生活していく力をつけるために手助け(支援)が必要な障がいをお持ちの方々に開かれています。

◎特別支援学校を卒業した方
◎就労を安定している方
◎久しぶりに社会と関わる方など



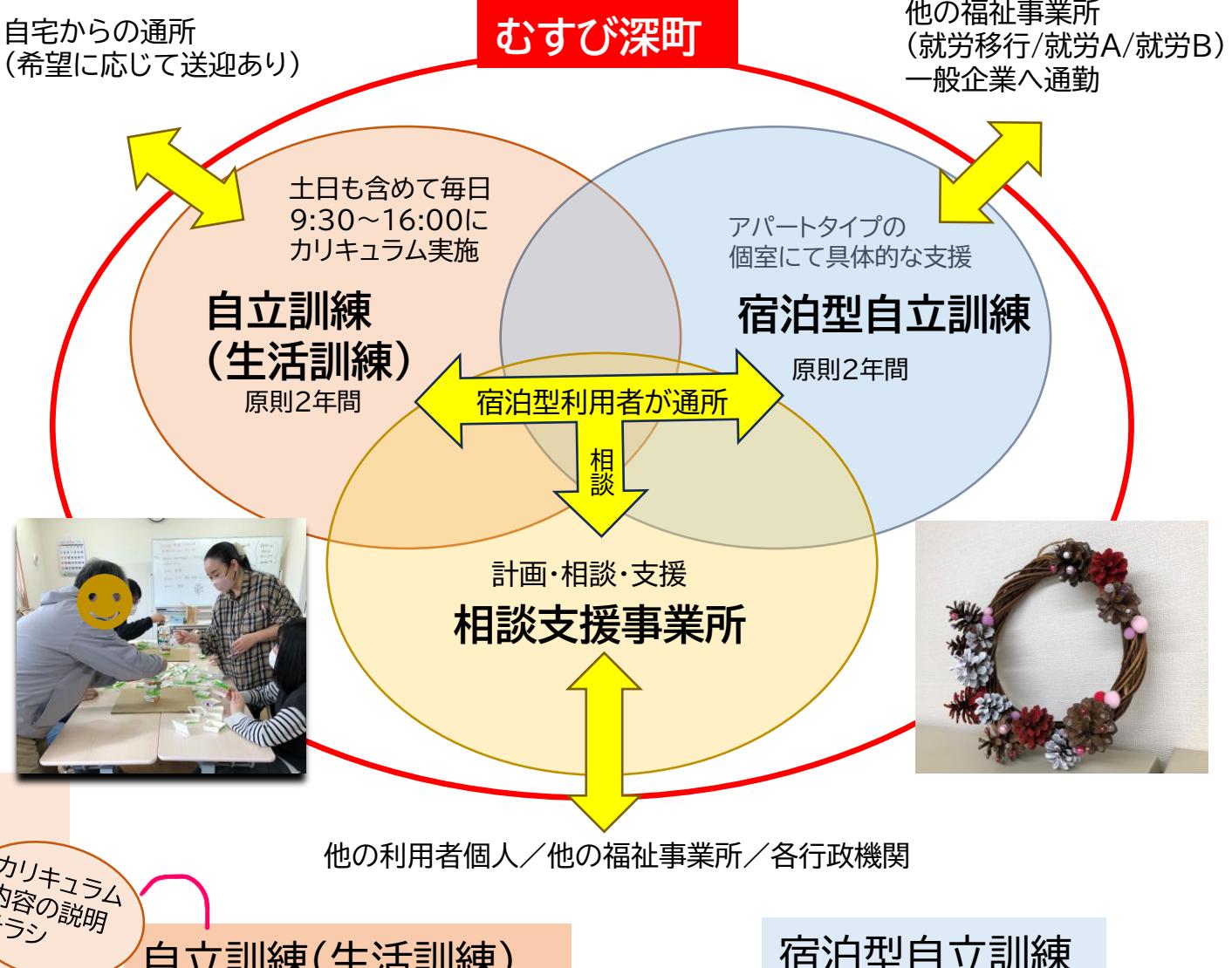
むすび深町
ふかまち
じりつ くんれん
自立訓練
こういうことをやっています。



むすび深町で 大事にしている 8つの訓練(カリキュラム)内容

みなさんの生活する力が、根をはり枝をのばすように、私たちは支援しています。

日々の生活	人との関係	自分を知ること	体力をつける
●生活のリズムをととのえる ●清潔な身だしなみができる ●必要な食事をつくる ●場所をきれいにそうじする ●お金のことをかんがえる ●花や野菜をそだてる	●あいさつする習慣をつける ●人に話しかける練習をする ●自分の意見を素直に伝える ●人の良いところをみる ●話をきくことを大事にする ●気持ちのよい距離感を知る	●自分の障がいについて ●自分の得意なことを見つける ●好きなことを見つける ●苦手なことや嫌いなこと ●調子が悪い時にどうすれば落ちつけるか知る	●ストレッチをする ●家でもできる運動をやる ●外に散歩にでかける ●体力を測ってみる ●ゆっくりでも長い時間を動き続ける。
たのしく過ごす工夫	道徳をかんがえる	色々な場所に出る	仕事につなげる
●ひとりで楽しめることをさがす(ぬりえ、クイズ、手芸、読書など) ●みんなで楽しめることをみつける(ゲーム、スポーツ、レクリエーションなど)	●物語を読んで、登場人物の行動の理由をかんがえる ●いろんな考え方や、物の見方を調べて、自分とのちがいについてしる ●世の中のことをかんがえる	●自分が出かけて気分が良い場所をみつける ●バス・電車にのってみる ●みんなでいっしょに行動 ●開かれた場所で、過ごすときのマナーを身につける。	●得意な作業をみつける。 ●不得意な作業をやるときのコツをさがす。 ●人のやり取りになれる ●開かれた場所で、過ごすときのマナーを身につける。



自立訓練(生活訓練)

定員20名

訓練における柱となる3つの重要な目的
 ●生活リズムを整えること(体調管理)
 ●金銭管理ができるようになること
 ●住環境の管理ができるようになること

【実施しているカリキュラム項目】
 LST(ライフスキルトレーニング)
 SST(ソーシャルスキルトレーニング)
 自己理解
 SW(模擬業務)/栽培活動
 LA(余暇活動)/演劇活動
 調理訓練/清掃活動
 課外活動/外部講師による講座

宿泊型自立訓練

定員33名(2026年1月より増員しました)

1月上旬時点で、入居者数は19名(男性9名、女性10名)。年齢は19歳から50代後半までと幅広いです。その他にもすでに近月中の入居が決まっている方が数名ほど。2年間の訓練を経て、卒業を控えている方もおり、入居可能な居室数は変動しておりますので、お問い合わせください。

日中はむすび深町の自立訓練に通所している方が半数ほど。また同法人が運営する寒河江市の「地域特産開発研究所」(就労B型)、近隣の就労A型、B型、精神科のディケアに通っている方と、日中活動の場はさまざまである。

相談支援事業所

福祉サービスを利用したい方に対してご本人の意思決定を尊重し、計画を立て事業所を紹介。定期的なモニタリングを行いご本人の状態を確認しながら、各事業所や行政機関と連携して、ニーズにあった包括的なサポートを実施している(相談支援員は2名配置)。

よくいただく述べます。

Q. 知的・発達・精神などさまざまな障害を持った方に開いているようだが工夫している点は?

A. 障害の違いはもちろん、個々人の能力に合った方向性を指し示し、2年後にご本人がどういう選択ができるかの可能性を拡げられるように支援しています。

Q. 2年間の自立訓練の終了後については?

A. むすび深町に在籍中に日中活動先と居住について、利用されている方々の状態・状況に合わせて支援しています。今までですと、一人暮らしを始める方や進学される方もいらっしゃいました。むすび深町に在籍している間に就労移行支援や就労A型・B型など活動先に体験を促し、それにともないグループホームや一人暮らしも地域移行支援員を中心に遂行させていただいている。

Q. 実際にかかる経費については?

A. 自立訓練(生活訓練)については、大体の方が昼の給食料費のみで、往復の送迎車の利用は原則自己負担はありません。

宿泊型自立訓練は家賃と提供分の食費のみ法人にて徴収。その他に居室で利用している光熱費は一人ずつに請求書が紙面で届くようにしてあり、口座引き落としではなく自分自身で支払いに行くようにして、自分の生活に関わる金銭に自覚的になってもらっています。その他の生活費も、一人一人と個別で金銭管理をする時間を設けて、限られた収入の中で暮らしていく方法を学んでもらいます。

Q. 自家用車の利用については可能か?

A. 自分で運転して通所したり、宿泊型利用で車を保持することは問題ありませんが、駐車場は限りがあるので近隣の月極駐車場などをご利用いただくことにしております。

Q. 送迎の可能なエリアは?

A. 現在の送迎は山形市内が中心ですが、相談に応じることはできます。また、徒歩や自家用車などで通所する場合でもその日の体調に合わせて送迎を希望する場合は、当日対応も可能です。

